

上志津原 たより

第362号

平成23年1月1日発行

発行 上志津原町会
発行責任者 町会長 大内 茂

新年の挨拶

町会長 大内 茂

あけましておめでとつございませう。旧年中は上志津原町会の、皆様方の温かいご支援をいただき、ありがとうございます。盆踊り大会や幹線道路清掃、大運動会等の主な行事も無事終了することが出来ました。日頃の町会運営へのご理解、ご協力に対し、心からお礼申し上げます。

私も来年3月限りで、任期満了となりますので、来年中に後任人事を進めていきたいと思います。上志津原が「住みよい上志津原」であるよう、皆様と共に力を合せて、役員一同頑張つて参りますので、本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶と致します。

新年会

1月16日(日) 正午から

お申込みになられた方は忘れずにお越しください。お待ちしております。(スポーツ新年会係)

新春インタビュー

上志津原の開拓を語る

語る人 石川 恒次 様
ミツ子 様

開拓65周年
記念企画

上志津原は戦前、四街道から広がる陸軍の演習場でした。昭和20年12月、昭和21年1月、2月、3月においてになられた方々によって開拓されました。食料難の時代、戦車のキャタビラや軍靴で踏み固められた不毛の地を開墾するのは大変なことでした。下志津開拓団に入った37世帯が23年3月に開拓組合をつくり、その後加わった10世帯の計47世帯で団結し、励みあってこの地を開きました。最初の入植者のおひとり、石川さんご夫妻にお話を伺いました。



■入植のいきさつ

「まず、上志津原へおいでになられたいきさつをお聞かせください。石川 私が上志津原へ来たのは昭和21年1月の中旬で、19歳でした。開拓団で最少年だったとか。石川 いいえ。最少年ではありません。18歳の方も2人いました。なぜここに来たかと言えば、戦争で負けて壮年も青年もぼんざいで仕事がなくった。さあ、どうしようという時に人つて下志津原に軍用地がある、という入植の誘いがありました。下志津原演習場を開拓して食糧増産を図るといふ国策事業で、ようし、チャンスだ、というわけです。私、東大和の出身ですが、仲間とともに来ました。

下志津原演習場 大日、山王、天台、千種、鹿放、現在のの上志津原、下志津原に広がる広大な土地を下志津原と称した。現在の下志津原はその一部である。

■東大和からですか。

石川 立川で電車に乗り、国分寺、三鷹、中野、新宿と、当時、電車は走っていたのですが、沿線は建物らしいものはひとつもない焼野原で、みんなひどいめにあったんだな、と思いました。戦争とは悲惨なものだということを実感しました。千葉で平山さんが迎えてくださいました。千葉からは線路伝いに歩いて、四街道の兵舎に着きました。当面その兵舎で寝泊りする事になりました。

「上志津原に入られたのは。石川 翌日に現地を見ました。最初上志津原に入られた時の上志津原はどんな風景でしたか。石川 ちがや、純粋な日本古来の種類のかやの野原でした。現地を見たときの心境はいかがでしたか。石川 こをやるんだ、という気持ちでした。2千5百町歩もある軍用地で、私たちのところは約90町歩と記憶していますが、それを45、46軒の農家で営農するという計画です。越後部さんが年長者で、みんなどうだ、ここに落ち着こうじゃないか、ということになりました。勤まるかどうか分からないが、お互いに頑張りますよ、と。

■開拓

「開拓の作業はいつから、どういう形で始まったのですか。最初から誰々とはどこどこを、というわけではなかったでしょうか。石川 8つの班に分かれていました。のち、2班加わり10班に。そして班単位で開拓にとりかかりました。食事も寝泊りも作業も、最初は一緒でした。四街道の兵舎にはいつ頃までいましたか。こまで通うのは大変だったでしょう。

■西福寺から、引っ越しですね。

石川 引っ越しと言っても何もありませんから。寝るのも当時は毛布しかなかったですから。で、共同住宅で生活をしながら順次、個人の家を建てていきました。共同住宅や個人住宅を建てる時の部材は、四街道の兵

舎を壊して運びました。どうやって運んだのですか。石川 最初は軍払い下げの車で運んだんですが、1回か2回で動かなくなっていました。そこで上志津の馬車を持っていく方々にお願ひしました。と、はちやげんぺいさんとか、まごさえもんさんとか、数名の方のお名前を屋号ですらすらと教えてくださいました。

「最初、作物は何を作られましたか。石川 農業の指導者からこれがいい、育てやすいからとかぼちやの壺掘り栽培を教えられてやりましたが、そんなのはうそっぽで大失敗でした。酸性土壌なので育ちませんでした。農業は成果が出るのは二年単位ですから大変です。種を蒔いても芽が出ない、芽が出ても苗が育たない。こうして二年が過ぎました。一年目はさつまいもを植え、おかぼの種を蒔きました。供出農家には肥料の配分がありますが、開拓農家にはないので苦労しました。三年目には落花生の種を開拓組合で心配してくれました。二年、三年、四年とやってきて、なんとか農業でやっていける、生きるに必要な食糧が採れるという見通しがあったのは四年目くらいからでしょうか。嫁をもらえといふことになって

■奥様はいつから

「奥様がおいでになられたのはいつですか。奥様 26年12月です。どちらからですか。奥様 東大和からです。ああ、お知り合いだったのですか。次頁につづく

聞く人

大内 茂、内田幸江、上村 綾、佐々木淑子、本名真弓、宮武孝吉

前頁からのつづき

石川 いい人がいる、と田舎から紹介されてきたのがミツ子で、知り合いでした。伴侶を得た事は開拓生活で大きな力になりました。ひとりふたりでは大違いです。明日は何の作業をしようとか相談しながらやれるようになりましたからねえ。はかどるようになりました。奥様、こちらにおいてになりましたか？

石川 来た頃は寂しかったみたい。奥様 そりゃあ主人が出掛けていない時などは寂しかったですねえ。

こんなことがありました。うちにシッパートの犬がいるんですが、夜中に激しく吠えるんです。主人は用事で田舎へ行っていいない。長男が八ヶ月だったのですが、いつでも逃げられるように身構えて脅えていました。すると犬の鳴き声を聞いてご近所の奥さんが心配して来てくださいました。



水が出た！ 畑地かんがい用水完成 (昭和32年)

さらに千葉さんの旦那様が来て周囲を見廻ってくださった。あの時の嬉しさは今でも忘れられません。

—お買物などはどうされていたのですか。瀬田商店 のちの小森商店) ができるまでは。

奥様 成田街道にある「かねたや」へ行っていました。お米や味噌は、主人が



上志津原のスイカ出荷組合集荷場 (昭和30年頃) =出典は下記欄外

上志津原の開拓 下志津開拓団勝田分団として最初に定着したのは37戸、23年3月に上志津開拓農業協同組合結成。24年4月第二次入植5戸、26年6月鹿放からの転入5戸の計47戸で上志津原は開拓された。

時々農協へ行く用事がありましたから、買ってきてくれました。

■畑地かんがい用水

—さて、農業のその後ですが。石川 30年頃、サトイモを採り入れました。こは火山灰土で土が乾きます。そこで30年に畑地かんがい用水工事を始め32年に完成。33年頃からサトイモができるようになりました。

何の作物でも水が有ると無いのは育ち方が違ってきます。畑地かんがい用水導入の意味は大きかった。農業がうまくいくようになって出荷できるようになる。

石川 野菜組合に出荷できるようになりました。

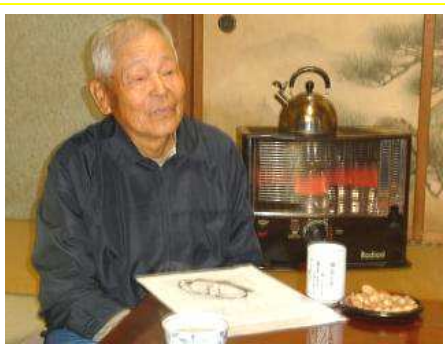
—スイカ集荷風景の写真があります。石川 スイカは長くは続きませんでしたが。神田の市場に出荷した、とお聞きしています。石ころだらけの当時の道路事情を考えるとわかには信じられないような話です。石川 いいえ、確かに村の道はそう

したが、幹線に出ると大丈夫でした。子供の頃、その車に乗って東京へ行った、というお話を聞きました。石川 ええ、そういう機会でもないとは出かけた覚えが。奥様 ありました。5月のごどもの日に集会所でお菓子を用意してとか、いろいろな行事をやっていました。

—開拓生活のお楽しみは、学校は奥様にお聞きしますが、婦人部のようなものはあったのですか。奥様方の集まりが。

—当時の皆様のお楽しみは何かでしたか。盆踊りを今のはらトピア前の駐車場で行っていた、というお話を聞きました。石川 ええ、あの場所で行いました。一町会が出来る前はそういう行事はすべて開拓組合で行っていたのですか。石川 そうです。映画の上映もしていましたよ。町へ映画を見に行く、そういうこともできませんからねえ。毎日映画社に相談して大谷新聞店がやってくださいました。

—青天井のもと、スクリーンを立てて。石川 そうそう。雨が降ると中止です。学校は上志津小学校でした。石川 子供が3人いますが上志津小学校でした。うちの子より少し上の方は上座の志津小学校へ通いました。遠くで大変でした。



平凡に、農業一筋で生きてきました。大地に感謝あるのみです。



はらトピアの前身、青年館、集会所という言葉が飛び交い、上村「青年館はなじみ深いですが、集会所は知りませんでした」本名「私は、はらトピアしか知りませんでした」。

47戸の開拓の村 昭和39年頃から宅地分譲が始まり、新住民が転入。42年に100戸、48年に300戸、平成2年に500戸、21年に800戸を超え、現在に至っている。

■ふれあい通りのこと

—今の上志津原の姿を見てどんなことをお感じになられておられますか。石川 遊歩道、あれはよかったと思います。朝早くから人が行き交い交流している。いたずらに開発しないでよかった。

—防風林はこの広大な下志津原演習場開拓地のあちこちにあったそうです。が、みな、払い下げをもらって分け、開発してしまった。上志津原の皆さんだけが払い下げを受けずにこれを守ってきた。石川 そうです。誰かが払い下げてもらおうじやないかと言いつつとそうなっちゃいますからね。

—ところで防風林ですが、皆さんが松を植えられたのですか。石川 そうです。防風林の計画地が決められていて、植林しました。

—防風林は国有地で、開拓農家が委託を受け下草刈りなど管理していた。しかし防風林の役目もほぼ終わったので国は市に払い下げた。佐倉市はこれを市民が憩える公園に整備してくれた、とお聞きしていますが。

石川 ありがたいことです。遊歩道は上志津原の宝物です。

■感慨、そして若い世代へ

—「苦労されてごんち、おそろいでお幸せに暮らしていらっしやる、感慨はひとしおと思えますが。

石川 妻と話をしていることですが、私たちは農業、筋でやってきた。いろいろな新しい分野に挑戦される方もいらっしやいましたが、私たちは平々凡々と農業筋に生きてきた。これはこれでよかったのだ、と。

—上志津原を継承していく若い世代へのメッセージをお願いします。上志津原をどんな町に、と望まれますか。石川 平凡でいい。田舎そのものの上志津原ですが、あまり細工をしないで、このままでいいのだと思います。これは私の考えですが。

自然を愛し、平凡に生きる、それが幸せに生きる道だと思えます。

—今日は長時間にわたり貴重なお話を聞かせいただき、ありがとうございました。お身体をお大切に、お元気で暮らしてください。(完)

町会長の動静

- 10月2日、わかば幼稚園運動会。班長会議。16日、運動会準備。まちづくり委員会。17日、大運動会。エステイホーム地造成打ち合わせ。24日、志津南地区社協福祉委員会。福祉センター。防犯連絡会。25日、広報会議。29日、社協原ブロック会議。31日、通夜。
- 11月4日、防犯ハトール取材対応。6日、班長会議。7・8日、上志津原旅行会。13日、上志津中学校評議委員会。14日、双葉会35周年記念祝賀会。19日、地域推進会議。南小。20日、まちづくり委員会。25日、佐倉市戦没者追悼式典出席。26日、社協原ブロック会議。

※その他毎週土曜日防犯ハトールに参加。文書係作成の班長会議議事録より

■「上志津原のスイカ出荷組合集荷場」写真の出典は平成8年、千秋社刊『写真集／佐倉・四街道の昭和史』です。

民生委員に藤谷良弘さん

主任児童委員に上村綾さん就任

去る12月1日、志津コミニティセンターで佐倉市民生委員児童委員の委嘱式がありました。上志津原関係では北地区担当の糸井文子さんは再任されましたが、南地区担当は宮武孝吉が退任したため、新たに藤谷良弘さんが就任しました。また、志津南部地区で定員2名が置かれていた主任児童委員のひとりには上志津原の上村綾さんが就任しました。

民生委員は児童委員も兼ねます。任期は3年で、当該地区の自治会長が推薦し市や県、国の審査を経て厚生労働大臣が委嘱します。無償のボランティアで推薦の年齢条件は新任が65歳まで、再任は75歳までです。

主任児童委員は、民生・児童委員や学校等と連携しながら児童に関して専属的に携わる職責で、志津南部地区民生委員児童委員協議会会長が推薦します。上村さんは上志津原だけでなく志津南部地区(京成電鉄線路南)全域を担当します。困ったことがあった場合に身近かな相談相手となる民生・児童委員の役割は地域です。上村さん、藤谷さん、上村さんのフレッシュコンピが誕生しました。皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、前述しましたように私、宮武は退任しました。4期12年間、町会の皆様、個人・企業・学校・福祉施設・関係機関等、皆様に変なお世話になりました。

ご協力、ありがとうございました。

民生・児童委員には守秘義務が課されています。なにかの場合には安心して相談ください。

藤谷良弘



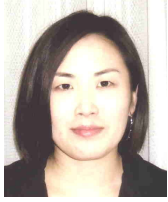
就任の挨拶

【担当地区】上志津原 南地区
【住所】* * * * *
【電話番号】* * * * *

12月1日付けで民生・児童委員の委嘱を受けました藤谷です。前任の宮武孝吉さん同様に皆様のご支援、ご協力を頂戴しつつ、上志津原の地域福祉に努めて参る所存です。

上志津原地域は、ここ数年世帯数が急増してきましたが、まちづくりで世代間交流が進み、楽しい町になってきました。さらに交流の輪が広がり、安心・安全な町、住みよい町になりますよう糸井さん、上村さん共々何卒よろしくお願い申し上げます。

上村 綾



【担当地区】志津南部地区
【住所】* * * * *
【電話番号】* * * * *

この度、主任児童委員を務めさせていただくことになりました上村です。

本年度、町内会の班長として地域にかかわることで感じたのは、上志津原は地域社会への関心・意識が非常に高いという事です。大変お恥ずかしいことですが知らないところで地域の皆様に支えられていたのだと気付かされるのが多々ありました。

今回、主任児童委員を務めさせていただくことで、微力ながら地域社会に貢献(恩返し)できればと思っております。よろしくお願いたします。

再任の挨拶

糸井文子



【担当地区】上志津原 北地区
【住所】* * * * *
【電話番号】* * * * *

この度、前年度に引き続き、民生委員・児童委員として上志津原の北地区を担当させていただくことになりました糸井文子です。

上志津原は、町会体制やまちづくり委員会の活動も充実しており、とても住みやすい地域です。それでも、生活している中で困ったことに遭遇することがあるかもしれません。そんな時には、いつでも気軽に民生委員にご相談ください。民生委員には守秘義務があり、秘密が漏れることは決してありません。だれもが笑顔で毎日を暮らせるよう、一緒に問題解決に取り組んでいきます。どうぞ、よろしくお願いたします。

佐倉市職員が上志津原で研修



ふれあい通りにて



てんぐす病枝の除去は



とても感じのよい13人



パソコン教室にて

第8回班長会議議事録(抄)

11月6日午後7時、欠席2名
陪席者：まちづくり・中山、萩庭

- 1、町会長挨拶(活動報告)別掲
- 2、連絡事項
- 第2回防犯連絡会の報告(鈴木)

・上志津原に不審者。10月3日、上志津原210番地、10組、下半身露出の男がバイクで走り回っていたとのこと。学校などに連絡済み。

・層間もハートルしたところの意見が出ているが、今後の課題

運動会結果報告・反省(佐藤)

・競技の参加者が並ぶ際、係は何レースまで把握している筈なのに並ばせた挙句、ここまで切るのは問題では、との指摘をいただいています。

・運動会らしい定番の音楽を多く流して年配の方も盛り上がるようにしたらとの指摘もいただいています。

・エラティホーム宅地造成案件(中山)
・避難道路等の問題あり、11月7日市の担当者をまじえ話し合います。

- 3、各部等連絡事項

新年会について(山下)

・日程、申込みの回覧をお願いしたい。自治会館清掃について(萩庭)

・よろしくお願いたします。

防災訓練共催イベント(大内・萩庭)まちづくり委員会(中山)

・市長命令で、職員を自治会の活発な町に派遣して勉強させたいとのことで依頼あり。新任職員が12月7日に来る。受け入れ体制について。

社協原ブロックから(宮武)

- 9、その他

・大型犬を放している人がいる。放し飼いをしないよう、掲示等したい。

・猫公舎が増えている。野良猫にえさをあげている人がいるのでやめてほしい。…回覧などで対応したい。

記録 文書係(高松)

第9回班長会議議事録(抄)

12月4日午後7時、欠席1名
陪席者：子供会・松本

- 1、町会長挨拶(活動報告)別掲
- 2、審議事項

防災訓練・共催イベント(大内)

・消防署の消火訓練と日赤奉仕団の炊き出し、終了後のイベントについて

・新年会開催概要(小谷野)

・12時開始、15時終了
・プログラムの食事タイム、ギター演奏、ビンゴゲーム、カラオケ)

カラオケはプログラムの最後にして受付の際に曲名を書いてもらい、1人1曲ずつ歌ってもらいました。ボックスに紙を入れてもらい、順番で歌っていただきます。

佐倉市職員研修について(藤谷)
・12/7(火)、佐倉市役所から3名
・午前中は原の成り立ち、市民協働事業
・まちづくり委員会について説明
・午後、COCOくらぶふれあい通り部の遊歩道の保全・美化活動や、パソコン部会の活動に参加を予定

- 3、各部連絡事項

環境衛生(池田)：本日もトイレをきれいに掃除してくださいとありがとついでにしました。

・会計(長谷川)：赤い羽根共同募金236,779円でした。ご協力有難うございました。

・1月は町会費の集金があります。大内会長より：歳末助け合いの募金活動、よろしくお願いたします。領収書は必要に際し発行してください。

見上副会長より道路要項事項回答状況の報告がありました。(次号掲載)

- 4、その他

・はらトピアの防火管理者：資格をもつ宮坂明雄さんをお願いしました。

・民生児童委員について(別記)
記録 文書係(高松)

賑やかに冬のイベント

防災訓練

備えあれば憂いなし

12月5日、上志津原町会は児童公園で防災訓練を実施しました。消防署の指導で放水訓練をし、防火についての講話を聞きました。



子供会

あっ！わたあめだ！
子供会のお店はいつも楽しい。



餅つき、木工教室



イベントは楽し

防災訓練のあと CoCo くらぶ・イベント部会による餅つきや大工さんの指導で木工教室が行なわれました。そのほか子供会、社協・原ブロックによる出店やフリーマーケットもでて、賑わいました。



フリーマーケット



双葉会創立 35 周年記念のお祝い

双葉会は創立35周年を迎え、11月15日、祝賀会を開催しました。



楽しい会でした。

福祉まつり

社会福祉協議会・原ブロックは福祉のお店を出しました。焼きそば、野菜販売など。活動展示もしました。



ライトアップ

幻想的な世界演出

11月14日からいちょう並木のライトアップが行なわれました。CoCoクラブ・イベント部会が演出しました。



元気な上志津原
さまざまなイベントで楽しく
新年もよろしく！！

ホームページ「ようこそ上志津原へ」
町会のページ
最新の番組

- 70 (2010、12、9UP)
 - 1、防災訓練
 - 2、防災訓練後のアフターイベント
 - 3、佐倉市職員上志津原で研修
 - 69 (2010、11、17UP)
 - 1、防犯委員会活動報告
 - 2、双葉会創立35周年記念行事開催
 - 3、銀杏並木ライトアップ
- 「ようこそ上志津原へ」で検索してください。



紅葉の奥四万にて

【連絡先】
・大内 (* * *) * * * *
・羽山 (* * *) * * * *

街の話題
紅葉の四万温泉へ
上志津原旅行会 会長 大内茂は11月7・8日、紅葉の四万温泉を訪ねました。参加者は19名。近代産業発展の礎となった富岡製糸工場跡を見学、横川で昼食、軽井沢アウトレットに立ち寄り四万へ。宿は名湯の「たむら」。宴会ではHさんの手品、Sさん初公開のひよつこ踊りを楽しみ、カラオケはほぼ全員が歌い、最後は全員で東京音頭を踊りました。2日目は奥四万の湖の紅葉、水沢観音、卯三郎こけし、ハルナグラスを見学して庵古堂に立ち寄り、山椒庵で水沢うどんを味わい帰路に。上志津原開拓の苦難の時代に始まったこの旅行会。車中での会長のお話に

編集後記

私はこの地に住んで約15年になります。その間に子供は成長し、家から離れていきました。この上志津原は戦前、四街道からの延長で、陸軍の演習場だったということは、私の勤務先の会長から聞いていました。しかし今回開拓された方にお話をうかがい、より深く知る事が出来ました。そんな素晴らしい土地に私達は住んでいます。現在この上志津原に家がほとんど建てられ、人口が増えてきました。嬉しいことです。これからもこの土地で生まれ育ち、築立っていく人も大勢いると思います。こうした未来に生きる方々にも語り伝えるべくこの地に生きる私達は、上志津原という土地が開拓によって開かれた土地だということ、自分の人生の一頁に入れてみるのいかがでしょうか。(佐々木)

今号掲載の写真
藤井輝夫様 松田 肇様
本名真弓、上村 綾、ほか
編集 町会広報部 印刷 花島印刷

転入	よっこそ！	お知らせ
南地区		
大和台	松戸正弘様	11月
吉野一	小川貴宏様	10月
吉野一	早川貴志様	11月